

常なる磐

つねなる いわ season II

令和 4年 3月 4日(金)

その4

◇ 一か月前と 二週前と 今と…

ちらほらと児童の欠席がみられるようになった1か月前。徐々にその数を増し、気が付けば全校児童の1/4の姿が教室からいなくなった2週前。そして3月3日、桃の節句。本当に久しぶりの全員登校。どの学級も、明るさと活気に満ち【雛祭り】。

▽1か月前の授業の様子



👉ご覧のように1か月前は顔を寄せながら理科の実験、チーム学習、昔遊びに興じる児童の姿がある。



👉2週間前は児童の机の距離がぐんと広がった。

そして、1か月前との大きな違いは、授業の様子をピンカメラで捉えるタブレット(赤破線)の存在だ。



オンライン学習は全ての学年が対応。ほかにも朝の会・帰りの会も学級の様子を撮影し、欠席した児童はタブレットで見たり、会や授業に参加したりできるようにした。

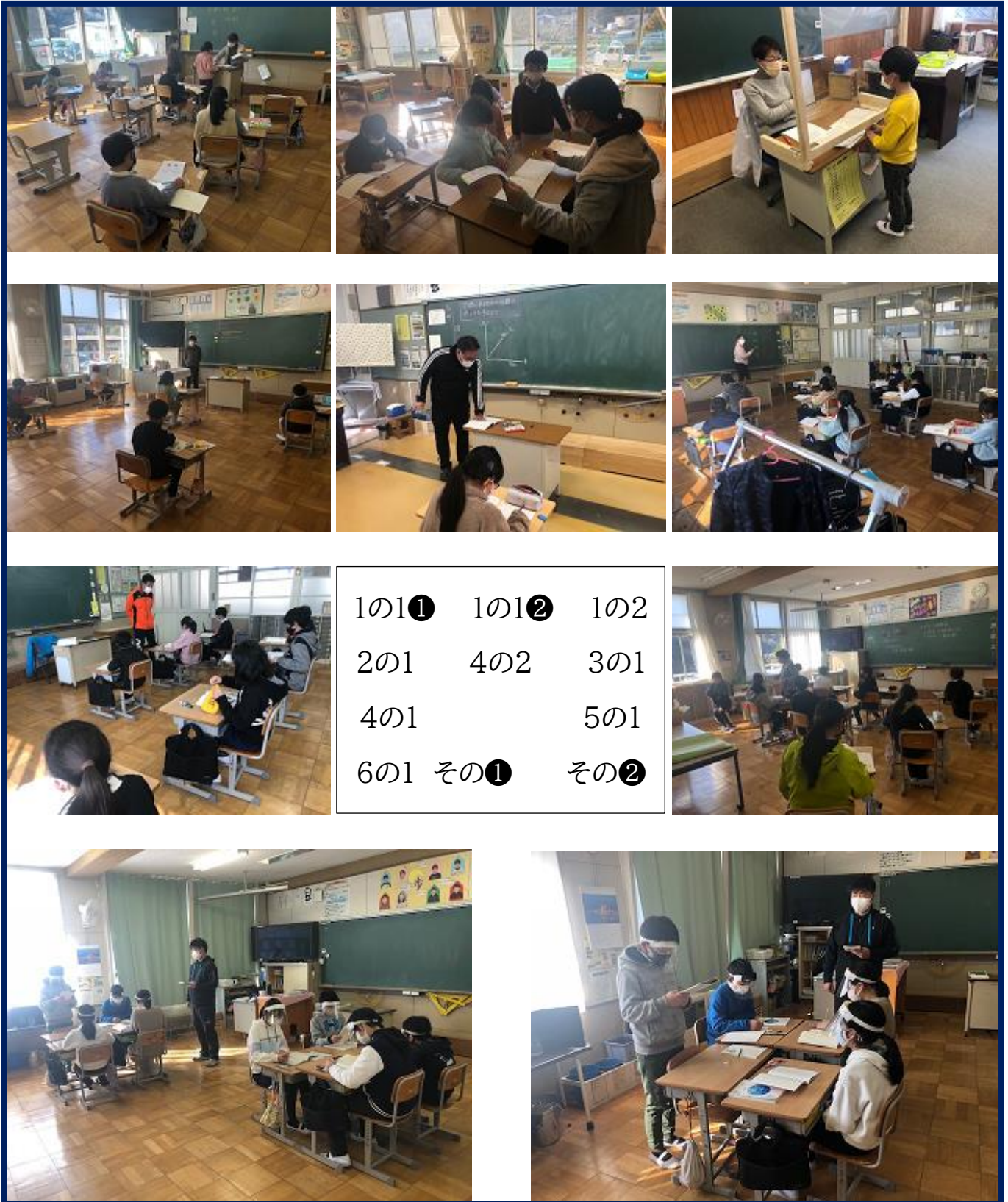
▼2週間前の授業の様子



双方向発信のできるオンライン学習と朝夕の会により、欠席した児童の学びがある程度保障できるとともに、児童と学校との有形・無形両者のつながりを保つことができた。「つながり」とは、特に【心のつながり】の部分である。

登校している児童は通常どおりの授業参加、欠席しつつも回復傾向がある児童は家での授業参加という並列進行ハイブリット型授業は、特に欠席した児童の心的メリットが大きい。学級への所属感・帰属感を感じつつ、画像を通して学級の様子を知ることによって児童は安心感も得られるからである。学校復帰時の晴れやかな児童の表情を見ると、ハイブリット対応の価値は本当に大きく、実施してよかったと思える。

そして、全員が揃った📍3月3日（木）の各教室の様子がこちら。



教室から教師用タブレットを保持する三脚が消え、児童の活気が戻ってきた。

最近「二重マスク」の児童が珍しくなくなった。家庭の協力に感謝である。